

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 取り組み状況 |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | 1 | 4 | ・内容による ・お子さんの人数と広さは見合っていない |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | 1 | 4 | 個別対応が不意に入ると足りないと感じることがある |
| | 3 | 事業所の設備等について、利用児に応じた配慮が適切になされているか | 1 | 2 | 2 | ・机の高さ ・部屋数が少なく、十分に配慮できていない |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 1 | 4 | | 業務改善に取り組めてはいるが、改善しきれていないところもある |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 2 | 3 | | |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 1 | | 毎年HPで公開している。保護者にも周知する必要がある |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 1 | 1 | 3 | 第三者による外部評価は行ってない |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | | 5 | | 研修の機会はあるが、もう少し増やしてもいいと思う |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 2 | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 1 | 3 | 1 | 使用できているところとできていないところがある |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | 1 | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 4 | 1 | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | 1 | 1 | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 4 | 1 | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 2 | 3 | | 状況によっては不十分のこともある |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 2 | 3 | | 必要な情報の共有は行っているが、必ず打ち合わせをできていないときもある(次の日に行くこともある) |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 2 | 3 | | 記録を十分取る時間がないときがある |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 3 | 1 | 1 | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 2 | 2 | 1 | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 2 | 3 | | |
| | 21 | 学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか | 4 | 1 | | 要望に応じて学校を訪問したり、電話で情報共有したりしている。 |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 2 | 3 | ・医療的ケアが必要なお子様を受け入れていない ・現在医療的ケアが必要な子は少ない |
| | 23 | 利用していた児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 2 | 2 | 1 | |
| | 24 | 他の放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 3 | 1 | 1 | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 4 | 1 | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や活動する機会があるか | | 1 | 4 | 交流できていない |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | 1 | 4 | 積極的な参加はできていない |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | |
| | 29 | 保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 1 | 1 | 3 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 4 | 1 | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | 1 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | 1 | 4 | 保護者様同士の交流はあるようだが、事業所として機会は設けられていない |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 3 | 2 | | 体制は整備しているものの、迅速には対応しきれないところもある |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 2 | 1 | 2 | 定期的に会報はできていないが、月間活動予定表などを保護者様全員にメールで送っている |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 4 | 1 | | ・1枠目と2枠目の活動終了と開始の時間が被っているため、用意在間に合わない ・部屋数の関係から、職員の作業室とお子様の活動室が同じ ・パソコンもお子さんと共有している状況 |
| | 36 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | 1 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 2 | 3 | ・地域住民との交流はほとんど行っていない ・他事業所とも協力して行っている |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 2 | 3 | | 保護者への周知は契約等で説明を行い、メールなどで感染上の注意点を周知している |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 5 | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 2 | 3 | | |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 2 | 3 | | 身体拘束が必要となるお子様は、利用対象にはなっていないが、その可能性があり得ると想定し、職員間で共通理解を図る |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、対応がされているか | 5 | | | 食物アレルギーの有無について保護者に記載をもらい、確認をしている 調理実習などをする際には、事前に確認をしている |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 5 | | | |